

学位被授与者氏名	孔 牧誠 (こう もくせい)
論文題目	義菴 孫秉熙の思想と行跡
論文審査結果の要旨	<p>孫秉熙は東学の第3代教主、天道教の教祖、3.1独立運動の指導者(民族代表33人の一人)、そして大韓国民会議の臨時大統領などの肩書をもっている。したがって韓国近代史や近代思想において、非常に重要な人物である。だが孫秉熙に関して、短篇的に言及してきただけで、彼の思想と行跡に焦点を合わせた研究は欠けているのが実情である。こうした欠落を補うべく、本論文は孫秉熙の思想と行跡を――関連史料・資料を丹念に調べながら――考察し明らかにした力作であるといえる。なお、孫秉熙に関する研究の欠落の理由は色々あるが、とくに彼の親日行為すなわち日露戦争の時、日本軍に資金を寄付したことや、東学教徒に日本軍の軍用鉄道の建設に労役を動員させたこと、進歩会と一進会を合併させたことなどの問題点が響いたと思われる。しかしこれらの問題点についても、本論文は冷静かつ客観的な視点から分析し考察しようとしたという点、特に評価してもよかろう。ただし孫秉熙の思想を表す文献や資料・史料の分析が十分とは言えず、それは、今後の課題として残っていると指摘せざるを得ない。</p> <p>2月19日、本学本館B-305教室で面接審査を行い、審査委員3名全員の合意で「合格」との結論に達しました。</p>